

日本舞踊 キャラバン

福岡
公演

日本舞踊キャラバン福岡公演へようこそ。
本公演は全国4か所で開催。
日本の美と粹がつまた伝統芸能「日本舞踊」の魅力を
存分にご堪能いただく企画です。

この公演ならでは!

日本舞踊キャラバン公演の特色

★初めてご覧になる方から愛好家の方、お子様からご年配の方まで、
どなたでもお楽しみいただける公演です。

地元・福岡県支部会員をはじめ、第一線で活躍中の日本舞踊
家が出演し、全曲、一流の邦楽演奏家による生演奏で上演。
各演目の見どころ解説もございます。

しなやかに躍動する舞踊家の美しい所作、踊りを彩る邦楽の
繊細な音色、舞台を盛り上げる衣裳・かつら・化粧・大道具・
小道具・照明・音響。

演者・スタッフ・制作陣が渾身の舞台をお届けします。
皆さまのご来場を心よりお待ち申し上げております。

● 演目解説 阿部さとみ [舞踊評論家]

※公演では、各演目の解説や見どころを 司会・桂吉坊 (落語家) がご案内いたします。

長唄「君が代松竹梅」●松、竹、梅のめでたさを詠った作品です。莊重な趣から松に
因んだ行事や羽衣伝説の天女の舞となり、続いて雪にも負けない竹に恋の道を重ね、
のちに梅の花にたとえた女心などを描いていきます。そして最後は松竹梅を讃えて舞
い納めます。

長唄「二人椀久」●椀久とは大阪の豪商梶屋久兵衛の通称。椀久は新町の遊女・松
山と深くなじみ、豪遊を尽くしたために、座敷牢に閉じ込められ、松山恋しさのあまり
に発狂しました。この曲では椀久が牢を抜け出しさまよい歩くうちに、恋しい松山の
幻を夢に見て、共に舞い踊ります。そして…。

清元「玉兎」●玉兎とは月の兎のこと。玉兎が月から飛び出して餅をつき、団子を作る
軽妙な振りの後「かちかち山」の物語が展開します。狸にお婆さんを殺されたお爺さんに代わって、兎が敵を討つお話です。そして「お月様さえ嫁入りなさる…」と、江戸時代後期に流行した鄙びた童謡でのどかに踊り、幕となります。

地歌「鉄輪」●夫を他の女に奪われた女が、その恨みから貴船神社に丑の刻参りをして
鬼となり、後妻打ちをするというもの。鬼と化した女が後妻の髪を手にからめて打
ち杖で打ち、次いで男の枕元に立つと、神々が現われて女を追い立てます。女の嫉妬
の凄まじさとともに哀れさも内包されている作品です。

長唄「連獅子」●獅子の父子の情愛と勇ましさを描いた歌舞伎舞踊屈指の名作です。
前半は狂言師が獅子の子落し伝説—我が子を谷底へ落し、這い上がって強子だけを育てる—を描写し、後半は獅子の父子が毛振りをするなど勇壮な姿を見せ
ます。前場と後場の間には長唄『松の寿』にのせて「胡蝶の舞」が舞われます。



泉 紀三助
いずみ きみすけ



泉 民恵
いずみ みね



花柳恵美近
はなやぎ えみちか



花柳輔三紫
はなやぎ えすみ



藤間勘志龍
ふじま かんしりゅう



花柳三枝君
はなやぎ みえきみ



吾妻濃穂
あづま なみほ



[司会] 桂 吉坊
かつら きちばう

●

君が代松竹梅



若柳薰子
わかやぎ かおるこ



花柳吉史加
はなやぎ きじふみか



井上八千代
いのうえ やちよ



藤間蘭黄
ふじま らんこう



花柳達真
はなやぎ たつま



花柳まり草
はなやぎ まりくさ



水木紅耶
みずき こうや



オンラインチケット購入
日本舞踊キャラバン
公式ホームページ



珠玉の芸に触れる



楽しく鑑賞!
見どころをご案内



気軽に鑑賞!
ことも・U25割引



心搖さぶる総合芸術

★ 詳細は、日本舞踊キャラバンHPへ!

君が代松竹梅



二人椀久



玉兔



鉄輪



連獅子

主催: 公益社団法人日本舞踊協会とは

日本舞踊協会は国の重要無形文化財に指定されている伝統芸能「日本舞踊」を通じて豊かな社会づくりに取り組む団体です。
1955年に設立され、108流派約3,500名の日本舞踊家が所属。福岡県支部(支部長:花柳三枝君)には約140名の日本舞踊家が所属し、日本舞踊の魅力を伝えるためにさまざまな活動を行っています。

★今回の日本舞踊キャラバン公演は、2024年9月から12月までの期間、岩手・新潟・青森・福岡で順次開催!

各地で日本舞踊協会ならではの珠玉の舞台をお届けいたします。

[公演担当理事]

吾妻濃穂／井上八千代／尾上菊之丞
西川扇藏／山村友五郎／若柳壽延

[公演担当委員]

吾妻君瀬／花柳絵美舞也／坂東映司
藤島里燕／若柳杏子